

サトコジファイル

Satokoji

File

福生市議会議員
佐藤こうじ
議員活動レポート



福生「生きがい都市」宣言！

本町連合会による 体験型防災訓練に参加

本町連合会（本一、本町、本町中央、本六、本七、本八第一、本八第二、武蔵野台第一、加美平住宅）による体験型防災訓練が福生第一小学校で行われました（令和6年11月30日）。講師は一般社団法人西多摩減災・防災ネットワーク（理事長 中原弘之）の皆さん。能登半島で起こった地震について解説を行っていただいた八幡徳二郎さん（写真右）は私と同じく立川ラジオISMのパーソナリティ。市の総合防災訓練とは趣を異にする、子どもも楽しめそうな内容でした。実際に倒壊した家屋から幼児を助ける訓練やTシャツを切って包帯にする訓練、水の浄化、汚物の凝固化、水没した車に閉じ込められた場合の対応、倒れてきたタンスの下敷きになるなどの実体験はとても勉強になりました。本六町会の会長でもある理事長の中原弘之さんともお話しさせていただきました。こうした訓練がお隣のあきる野市では盛んにされているそうで、福生でも引き続きこの体験型訓練ができればいいなと思いました。この防災訓練は「令和6年度東京都地域の底力発展事業助成」対象事業です。

- 講習** 災害時の実情や災害後の活動について
（非常用トイレ・非常用便器・非常用浄水器の使い方）
- 体験型訓練** 家具挟まれ体験・救出体験 水没車両体験
倒壊建物脱出体験 水災土砂流入防止
災害時Tシャツ包帯作り 負傷者救出レース
- 参加団体** 福生第一小学校コミュニティスクール委員会
福生市 福生市教育委員会 福生消防署
福生市消防団 福生市消防団 第4分団



令和6年12月議会での一般質問

1 令和7年度予算編成について

質問 令和7年度の予算編成について、市及び教育委員会の基本的な考え方、重点施策などについて質問しました。

答弁 令和7年度当初予算では、市税収入は賃上げの影響などを見込み、令和6年度当初予算よりも増額を見込むが、大幅な歳入の増加を見込むことができず、前年度と同様に経費節減に取り組む。重点施策としては、市の魅力を市外に発信するための①「ふるさと納税の返礼品事業」の予算化。定住化対策を積極的に展開するため、②市内の空き家等の実態調査。防災対策では、③耐震改修助成金の助成対象を拡大し市内の住宅の耐震化を推進する。子育て施策では、④保育所等の副食費に係る食材費等への助成を継続して実施。高齢者施策では、⑤補聴器の購入費について助成する。ハード事業については、⑥東福生駅及び熊川駅のエレベーター設置工事にも継続して取り組む。また、建設から45年が経過し、老朽化が進んでいる⑦松林会館についても、エレベーター設置等のバリアフリー化に取り組む。学校教育の重点施策は、GIGA端末の更新について、これまでどおり⑧iPad、LTEモデルを更新できるよう協議を進める。⑨不登校特例校分教室、福生第一中学校「7組」の分校化に向けた調整を進める。現在、さくら会館に開設しているが、福生第三小学校敷地内に移設したうえで、分校化する。⑩市内小・中学校の建替え、再編等、今後の在り方について、新たな検討組織を立上げ、本市の学校再編等に向けた基本的な計画の策定に取り組む。社会教育については、⑪「第五次福生市子ども読書活動推進計画」を策定し、学校・家庭・地域等が連携し、子どもの読書活動を推進する。⑫パラスポーツ体験事業を推進し、「こどもまんなかふっさ」の視点でパラスポーツの普及に取り組む、など。

Satokoji Point

「ふるさと納税の返礼品事業」の予算化は新たなまちの魅力創出につながります。また、松林会館のエレベーター設置は地元から強い要望があったものです。学校再編については、教育長が立ち上げた「ふっさの学校 夢 未来プロジェクト」で検討されていました。公共施設等総合管理計画の視点からも重要な取り組みです。停滞することなく、気力をもって進めていただきたいと要望しました。

2 横田基地について

(1) 泡消火薬剤 (PFAS) 等の漏出について

質問 令和6年10月3日、北関東防衛局から、「8月30日に横田基地の消火訓練エリアから、PFOS等を含む泡消火薬剤の残留を含む水があふれ出し、施設外へ出た蓋然性が高い」との情報が提供された。このことを受けて市の対応等について質問しました。

答弁 令和6年10月3日に米側からの情報として防衛省北関東防衛局から説明を受け、「8月30日、短時間に降った豪雨により、消火訓練エリアから、PFOS等を含む泡消火薬剤の残留が含まれる約12,640ガロン(約47,848ℓ)の水が、地上から雨水排水溝に流入し、施設外へ出た蓋然性が高いとの通知がなされた。本事案について、再発防止計画を講じている。」これを受け、10月4日に、横田基地に関する東京都と周辺市町連絡協議会から、①施設外へ出た蓋然性が高い水の水質や施設外へ出た場所、貯水池等にPFOS等が残留していた理由等の詳細な情報を迅速に提供すること、②国の責任において公共用水域や地下水への影響について調査・分析・評価を行い、その結果を公表すること、③東京都及び基地周辺自治体が必要に応じて立入調査をする場合には、全面的に協力することなどを、国に対し要請した。更にその後、④消火訓練エリアの位置は、横田飛行場の東側であり、⑤貯水池のPFOS等の濃度は、PFOS及びPFOAの合計で1,620ng/L(ナノグラム・パー・リットル)であったこと、⑥貯水池の水には過去の消火訓練で使用した泡消火薬剤が含まれていたこと、⑦流出ルートは、消火訓練エリアから雨水排水系統に流入し、横田飛行場の南西部にある排水口から恐らく施設外へと流れ出たことなど、追加の情報提供がなされた。



Satokoji Point

横田飛行場において、令和6年5月末までに旧式の泡消火薬剤の廃棄を完了しており、置き換えられた新式組成の泡消火薬剤については、原料にPFOS、PFOA及びPFHxSのいずれも含まれていない旨、ホームページに掲載しています。また、この一般質問の後、12月20日、国、東京都及び周辺市町による立入りが実施されました。米軍からは、事案発生後、短期的な再発防止策として、10月末までに約4万ガロン(約15万1千ℓ)の水を抜き取り、認可された施設において焼却処分し、残存している水については適切に管理し、新たな決定がなされた際には日本政府を通じ情報提供したい、等の説明がなされました。引き続き、市と共に適切な対応及び情報提供を米軍及び国に対して強く要請していきます。

詳しくはブログ「note」をご覧ください➡



3 福生駅西口地区市街地再開発事業の進捗について

質問 現在準備組合が本事業を進めていますが、組合設立認可申請に向けた手続きの進捗はどのようになっているのか。また、総事業費や市負担について質問しました。

答弁 組合設立認可申請に必要な資金計画等を基にした事業計画書がまだ市に提出されていない。令和6年度は、資材高騰等の影響で350億円を超える（令和2年時点270億円、令和4年時点308億円）。資材の高騰・労務単価の高騰により、令和2年との比較で80億円、約30%増となる。このうち、市の負担額は現在協議中。また、公共公益施設は、当初予定していた機能の一部が国土交通省の補助金の対象外となってしまったため、市長は防衛省へ補助金獲得のための働きかけを続け、今回、活用のめどが見ついた。そして、この補助金の活用には事業の一部を市の直轄へ変更する必要があるため、準備組合に対し承諾していただくよう、現在協議しており、併せて財政負担軽減のため施設の機能や規模について今後改めて事業計画の見直しを検討することが必要で、これらの再検討には、2年程度要する。



Satokoji Point

加藤市長は、「様々な課題はあるが、これを乗り越えやり遂げたいと考えている」とのことでした。西口地区市街地再開発事業が、福生市の活性化につながり、真に持続可能なまちづくりに資する事業となるよう、今後もしっかり注視していきます。

4 福生市教育振興基本計画 第2次の改定について

(1) 施行5年間の総括について (2) 改定の進捗状況

質問 福生市教育振興基本計画について施行5年間の総括について、また改定の進捗状況について質問しました。

答弁 5年間の取組みを基本方針ごとに述べると、①『子どもたちの「生きる力」の育成と個を伸ばす教育の充実』では、「TOKYO GLOBAL GATEWAY」における、英語教育の体験型プログラムへの参加、英語教育指導顧問の配置、水泳指導外部委託化モデル事業などに取り組んだ。②『教育施策推進のための環境整備』では、全児童・生徒に、一人1台のiPad・LTEモデルの貸与や、電子黒板、大型ディスプレイの全校配備等をはじめとする、ICT機器の導入を通じた学習環境の充実、学校給食費の全額公費負担による保護者負担の軽減などに取り組んだ。③『生涯を通じた学びによる豊かな地域づくり・人づくり』では、「幼保小連携推進ガイドブック」を策定、市内各幼稚園・保育園との包括連携協定の締結による、持続可能な幼保小連携の仕組みの確立などに取り組んだ。④『地域社会総がかりでの教育の推進』では、コミュニティー・スクール総会の実施、中央図書館・郷土資料室のリニューアルによる生涯学習拠点の整備、西多摩で初となる「ふっさ電子図書館」の開設などに取り組んだ。このような取組みに対し、有識者からは高い評価をいただいている。「改定の進捗状況について」は現在改定作業中であり、学校の教職員はもとより、保護者、児童・生徒を含む市民にとって親しみやすい計画とするため、「福生市教育振興基本計画」の名称を改め、新たに「福生市教育ビジョン」とする。



Satokoji Point

施行5年間のうち、コロナ禍でも学びが止まることはありませんでした。外部有識者からの評価も決算特別委員会で確認させていただいています。新たに作成される「福生市教育ビジョン」は、子ども版の作成も予定しているということでした。新しい「福生市教育ビジョン」の理念がしっかりと学校現場にいきわたるよう要望しました。

「フードバンクふっさ」の食品配布会を視察しました

■令和6年12月19日 ■福生市福祉センター



令和3年12月に設立された「フードバンクふっさ」は、寄付された食品を生活困窮者に無料で配布する食品配布会を実施しています。立ち上げ当初は利用者も少なかったそうですが、物価高騰の影響もあり、現在ではとても多くの方々に食品を配布しています。配布が開始される午前10時前には、多くの方々が並んでいました。高齢者や障がい者、子ども連れや若い方もいらっしゃいました。何度も頭を下げ「ありがとうございます」とお礼を言って帰る利用者の姿が印象的でした。ボランティアスタッフの不足に加え、寄付された食料品等の保管場所に苦慮しているとの相談を受け、実際の食料配布会の様子やスタッフの皆さんの生の声を聴くために会場に足を運びました。また、少々お手伝いもさせていただきました。さて、福生市とボランティア団体「フードバンクふっさ」は、食品ロスの削減および生活困窮者支援を目的に協定を締結しています。以前は、市民から家庭で余った食品を市が回収しても、市外の団体へ寄付していましたが、協定を締結したことにより、食品ロスを削減するための市内循環体制が構築されるとともに、生活困窮者支援の充実が図られています（令和4年10月からフードドライブを通年で実施）。様々な課題がありますが、食品ロスの観点からはもちろん、格差が広がる社会に必要な事業であり、本事業を持続可能な形にしていく必要があると強く感じました。ヒアリングをさらに行い課題解決に向け力を尽くします。

那須塩原市と会津若松市の議会基本条例及び議員政治倫理条例について視察しました

議会改革を進める中でこの2つの条例の制定に向けて議論しています。先進市である両市の取組みについて詳しくはブログnoteをご覧ください。議会基本条例は、議会運営の基本原則や市民との関係などを定めた議会における最高規範です。その目的は、議会の役割を再定義し、市民に対し説明責任を果たすこと（議会報告会）や議員間の議論（議員間討議）を尽くすこと、そして市民参加（課題懇談会）を進め開かれた議会づくり、市民の負託にこたえる議会の実現にあります。政治倫理条例は議員の行動基準を示すものです。市民参加を礎とした新たな議会づくりは、議員に対する市民の揺るぎない信頼があつて初めて実現できるもので、そのためには議員は公職者としての高い倫理観と深い見識により、自ら考える明確な政治倫理基準に基づき、誇りと自信をもって市政を担いつつ、説明責任を果たしていくことが必要です。そして、市民が議会基本条例と政治倫理条例を自らの宝とし、その価値を認め民主主義を実現していくためには、主権者教育、シチズンシップ教育を地域社会全体に行きわたらせていくことが必要だと考えます。これには長い年月がかかるとは思いますが、私たちは、その出発点にいるのです。ドイツのある社会学者は政治家の資質として「情熱・判断・洞察力、責任感」を挙げています。一政治家として諦めることなく情熱を持ち続け、現実を冷静に突き放して観察し、安ぎにつくことなく先を見据えた最善の判断をし、未来に向け責任を果たしていくことが必要だと考えます。

note



佐藤こうじプロフィール

誕生～学生時代

1968年 東京都日野市生まれ。
日野市立第二小学校、日野市立第一中学校、
東京都立南多摩高校、中央大学法学部卒
小学生時代：カブト虫・クワガタや魚獲りに明け暮れる
中学生時代：卓球部所属（市や地区大会で優勝！）
高校生時代：卓球部と体操部に所属、ロックバンド結成
大学生時代：法学、政治学を学び、政治学のゼミに所属

佐藤こうじ オフィシャルサイト



<https://www.sato-koji.com/>

佐藤こうじ Facebookページ



市議会議員は毎日何をしているのか

職歴～現在

- 2015年 保険会社、繊維業界紙新聞記者、予備校講師、家業の建築業（型枠工事／二級建築士）を経て、**福生市議会議員に初当選**。議会運営委員会 委員、総務文教委員会 委員、議会改革に関する特別委員会 副委員長、横田基地対策特別委員会 副委員長、西多摩衛生組合議会 議員
- 2019年 **福生市議会議員に再選**。総務文教委員会 委員長、議会運営委員会 委員、横田基地対策特別委員会 委員、議会改革に関する協議会 座長代行、福生病院組合議会 副議長、市議会正和会 政調会長
- 2021年 議会運営委員会 委員長、総務文教委員会 委員、新型コロナウイルス感染症対策特別委員会 副委員長、瑞穂斎場組合議会 副議長、市議会正和会 総務会長
- 2023年 **福生市議会議員に3選**。市民厚生委員会 委員、議会運営委員会 委員、横田基地対策特別委員会 委員長、西多摩衛生組合議会 議長、市議会正和会 会長

生年月日 1968年10月28日（さそり座） 血液型 O型

趣味特技 カラオケ、卓球、読書（社会科学系等の本をよく読みます。漫画も好きです！）

政治観 地方自治は民主主義の学校である（J.プライス）

家族 福生生まれの妻（介護福祉士）、社会人の長男・次男、大学生の長女

座右の銘 処人謙然（しょじんあいぜん）「人と接するときには和やかな態度で接すること」

地域活動 保護司、（社）不動福祉会理事、福生社交飲食業組合相談役顧問、福生市柔道整復師会顧問

福生市防衛協会事務局長、福生市ゲートボール協会事務局長、多摩西部議員交友会会員

ふっさボランティア・市民活動センターFVAC運営委員、福生不動尊世話人、福生市本町町会顧問

市生会 理事、本町神輿保存会 世話人

【発行】佐藤こうじ後援会 福生市本町79 討議資料

メディア 出演情報

FM たちかわ

『I.S.M.(イズム)生特番』

第2・4週 日曜日 16:00～18:00

番組内出演コーナー 16:00～16:25

福生市議会議員 佐藤弘治の

「市議会議員は毎日何をしているのか?」

地方議員の活動や考えを皆さんにお伝えします!



84.4
FM
エフエム
たちかわ
FM TACHIKAWA

ご視聴方法はこちら



心が通い 誰もが認められる 新たな時代のまちづくり

福生 生きがい都市 宣言!

佐藤こうじ後援会 事務局

TEL/FAX 042-849-2196

✉ koji.sato.office@gmail.com

〒197-0022 福生市本町79